

学習支援計画書（シラバス）

2022年6月30日

(1) 年次	<input type="checkbox"/> 一般科目 <input checked="" type="checkbox"/> 専門科目 <input type="checkbox"/> 選択科目
<input checked="" type="checkbox"/> ITソリューション <input checked="" type="checkbox"/> グローバルITビジネス	授業科目名：阿蘇×DX（農業・観光×IT）I 科目番号：SRC1
担当教員名：馬場 博史 【実務経験】大手通信会社の業務戦略統括部で地域振興推進責任者を務める。ロジカルシンキングでの課題解決については大学で教鞭をとっており、その経験を活かす。	

●ねらい、到達目標

ねらい：DXの概論について基礎知識を得ることができ、また多様化・複雑化した社会での問題解決アプローチであるロジカルシンキング・デザイン思考を習得し、ワークショップで実践することでロジカルシンキング・デザイン思考のマインドとプロセスを体感することができる。また学生は、南阿蘇の地域特性にあわせて対象とする問題と解決策をロジカルシンキング・デザイン思考で整理し発表できる。

到達目標：①DXの概論を理解し説明できることを目標とする。

②ロジカルシンキング・デザイン思考プロセスを理解し自分の考えをまとめ表現することができる

●科目概要

1. DXとは
2. 南阿蘇の地域特性を理解する
3. ロジカルシンキング・デザイン思考の概要とプロセス
4. 実習：プロジェクト実施
5. シェアと振り返り

●授業計画

時数	授業内容	時数	授業内容
1	シラバスの説明（前半）	19	シラバスの説明（後半）
2	DXの背景・考え方、DX事例の紹介	20	CPF(Customer Problem Fit) 顧客には我々が取組む意味がある切実な問題があることの確認
3	南阿蘇の地域特性	21	アイデア創発：機会探索文作成、機会探索文整理
4	問題着想&個人ワーク	22	選択
5	問題の全体像&個人ワーク	23	機会探索文を元に、解決策アイデア創発ブレイン
6	個人ワーク成果プレゼン	24	ストーミング、制約ブレインストーミング、メンバー入れ替えブレインストーミング、
7	チーム編成と問題選定とロジカルシンキング問題	25	アイデア分類、アイデア選択、コンセプトマップ
8	構造ワーク	26	作成
9	問題把握観察・体験・インタビュー設計	27	PSF (ProblemSolutionFit) ワーク
10		28	UVP, UX 定義
11	観察・体験・インタビュー実施	29	SPF (SolutionProductFit) ワーク
12		30	MVP 構築、ユーザーテスト
13	観察・体験・インタビュー振り返り着眼点作成選	31	PMF (ProductMarketFit) ワーク
14	択	32	ストーリーテリング
15	観察・体験・インタビューと着眼点を受けてロジ	33	企画書作成
16	ックツリーで問題分析/課題化	34	
17	課題検証	35	成果発表・振り返り
18	前半成果共有	36	まとめ

成績評価	グループ課題演習 60%、 受講態度30%、 出席率80%以上 10%
------	-------------------------------------

対面（集合）型 オンライン オンライン（オンデマンド・動画）

学習支援計画書（シラバス）

2022年 6月 30日

(2) 年次	<input type="checkbox"/> 一般科目 <input checked="" type="checkbox"/> 専門科目 <input type="checkbox"/> 選択科目
<input checked="" type="checkbox"/> ITソリューション <input checked="" type="checkbox"/> グローバルITビジネス	授業科目名 : 阿蘇×DX (農業・観光×IT) II 科目番号 : SRC2
担当教員名 : 馬場 博史 【実務経験】大手通信会社の業務戦略統括部で地域振興推進責任者を務める。ロジカルシンキングでの課題解決については大学で教鞭をとっており、その経験を活かす。	

● **ねらい、到達目標**

ねらい：学生は、南阿蘇の地域課題について理解する。各課題および解決策をデザイン思考で再整理し発表できる。
 到達目標：①真の課題に対するアプローチの手順を理解し、実践する。
 ②デザイン思考プロセスを理解し自分の考えをまとめ表現することができる。

● **科目概要**

1. 南阿蘇の課題をヒヤリングする
2. デザイン思考の概要とプロセス
3. 実習：プロジェクト実施
4. シェアと振り返り

● **授業計画**

時数	授業内容	時数	授業内容
1	シラバスの説明（前半）	19	シラバスの説明（後半）
2	南阿蘇における課題（1）	20	南阿蘇における課題（1）
3	南阿蘇における課題（2）	21	南阿蘇における課題（2）
4	南阿蘇題材の説明とグループワークの進め方	22	南阿蘇題材の説明とグループワークの進め方
5	グループワーク 課題の発見	23	グループワーク 課題の発見
6	グループワーク 課題の発見	24	グループワーク 課題の発見
7	グループワーク 課題の発見	25	グループワーク 課題の発見
8	グループワーク 課題の詳細化	26	グループワーク 課題の詳細化
9	グループワーク 課題の詳細化	27	グループワーク 課題の詳細化
10	グループワーク 解決方法の探索	28	グループワーク 解決方法の探索
11	グループワーク 解決方法の探索	29	グループワーク 解決方法の探索
12	グループワーク 解決方法の探索	30	グループワーク 解決方法の探索
13	グループワーク プロトタイピング	31	グループワーク プロトタイピング
14	グループワーク プロトタイピング	32	グループワーク プロトタイピング
15	グループワーク プロトタイピング	33	グループワーク プロトタイピング
16	フィードバック	34	フィードバック
17	フィードバックの整理	35	フィードバックの整理
18	成果発表・振り返り	36	成果発表・振り返り

成績評価	グループ課題演習 60%、 受講態度30%、 出席率80%以上 10%
------	-------------------------------------

対面（集合）型
 オンライン
 オンライン（オンデマンド・動画）

学習支援計画書（シラバス）

2022年6月30日

(1) 年次	<input type="checkbox"/> 一般科目 <input checked="" type="checkbox"/> 専門科目 <input type="checkbox"/> 選択科目
<input checked="" type="checkbox"/> ITソリューション <input checked="" type="checkbox"/> グローバルITビジネス	授業科目名：農業の基礎理解 科目番号：SRC3
担当教員名：吉村孫徳	

● **ねらい、到達目標**

農業においては、基礎理論を学ぶばかりではなく、現場における問題や取り組みの実際を把握した上で、様々な知識や技術について体得する必要がある。本科目では、農業に関連する知識や技術が活用されているフィールドや施設において、見聞や体験を通して農業にとって必要不可欠な実際の知識や技術を総合的に学習する。

● **科目概要**

日本農業の置かれている現状を分野ごとに詳しく理解する。また農業の平均年齢は高齢化し、若者の就業者獲得が困難になっている。この社会的背景や、日本の農家が抱えている農業の経済的な側面について学び、近年変化している地産地消や六次産業化について実務に基づき解説をおこなう。さらに、日本の農村を取り巻く諸問題と国際化の中の日本の農業の展望について学び、農業と地方創生の関係や方向性について考える。特に農業界の基礎理解と急激な変化について理解し、IT化やマーケティングの必要性。生産から製品、流通販売、消費者への流れ、環境負荷の少ない循環型農業などの先端農業について学ぶ。

● **授業計画**

時数	授業内容
1	オリエンテーション
2	農業とは何だろうか -農業の幅の広さ-
3	耕種農業（施設園芸、土地利用型農業、果樹、他）
4	畜産（養鶏、豚、牛、その他）
5	農業気象、病虫害、土壌肥料について
6	農業の災害リスク
7	現地見学（東海大学阿蘇実習場・木之内農園）
8	現地見学（東海大学阿蘇実習場・木之内農園）
9	現地見学（農業機械展示会）
10	現地見学（農業機械展示会）
11	市場・JAのしくみ、決済、IT化 ※課外授業あり
12	農産物販売の多様化 ※課外授業あり
13	スマート農業（IT・AIの導入事例）
14	国際化の中の日本農業
15	日本農業の未来展望
16	テスト
17	予備
18	予備

成績評価	テスト 60% 受講態度（出席、レポート提出）20%、 出席率 15回以上 20%合格ライン 60以上
------	--

対面（集合）型 オンライン オンライン（オンデマンド・動画）

学習支援計画書（シラバス）

2022 年 6 月 30 日

(1) 年次	<input checked="" type="checkbox"/> 一般科目 <input type="checkbox"/> 専門科目 <input type="checkbox"/> 選択科目
<input checked="" type="checkbox"/> ITソリューション <input checked="" type="checkbox"/> グローバルITビジネス	授業科目名 : 観光の基礎理解 科目番号 : SRC4
担当教員名 : 室岡 祐司、伊津野 範博、牧 一郎	

● ねらい、到達目標

<p>ねらい：観光業界についての基礎知識を学ぶ。多様な業界や職種がある総合サービス業であることを理解する。働く内容についてもオペレーション型からマネジメント型へ、ITやマーケティング活用の必要性を理解する。</p> <p>到達目標：①観光業界の基礎知識を習得する。 ②オペレーション型からマネジメント型へ、ITやマーケティング活用の必要性を理解する。</p>

● 科目概要

<p>観光業界についての基礎知識を学ぶ。観光業界は、旅行業、宿泊業のみならず、飲食業、物販業、鉄道、物流業のみならず、インターネット（OTA）業から観光ガイド業まで、多様な業界や職種がある総合サービス業であることを理解する。</p>
--

● 授業計画

時数	授業内容
1	全体ガイダンス
2	観光業の変遷と現状、ITやマーケティングの活用
3	観光業界全体について
4	観光業界全体について
5	旅行業界（旅行会社、OTA等）について
6	旅行業界（旅行会社、OTA等）について
7	地域と交通について
8	地域と交通について
9	物流について SCMのとらえ方
10	物流について SCMのとらえ方
11	宿泊業（旅館、ホテル）業のについて
12	宿泊業（旅館、ホテル）業のについて
13	飲食、物販、サービス業の現状
14	飲食、物販、サービス業の現状
15	地域観光（DMO、観光協会、行政等）について
16	地域観光（DMO、観光協会、行政等）について
17	総括、小テスト
18	総括、小テスト

成績評価	小テスト 実施 40% 受講態度 30% 出席15回以上 30%
------	-------------------------------------

対面（集合）型 オンライン オンライン（オンデマンド・動画）

学習支援計画書（シラバス）

2022 年 6 月 30 日

(1) 年次	<input type="checkbox"/> 一般科目 <input checked="" type="checkbox"/> 専門科目 <input type="checkbox"/> 選択科目
<input checked="" type="checkbox"/> ITソリューション <input checked="" type="checkbox"/> グローバルITビジネス	授業科目名 : IT 基礎 科目番号 : SRC5
担当教員名 : 川野 史愛	

● **ねらい、到達目標**

ねらい：学生は、IT にかかわる基礎理論、コンピューター、ハードウェア、ソフトウェア、システム、ネットワーク等の構成要素・基本となる仕組みを習得することで、専門科目の各事項において理解を深めることができる。

到達目標：①社会における IT の利活用の動向について習得し説明することができる。

②IT を構成する基本的な構成要素や基本的な仕組み全般を理解し、説明することができる。

● **科目概要**

1. コンピューターがどういう構成で動いているかを知る
2. ネットワークはどうやってつながるかを知る
3. インターネットがどういう構成で動いているかを知る
4. サーバとは何かを知る
5. プログラムはどうやって動くかを知る
6. コンピューターセキュリティについて知る
7. 全体のまとめ

● **授業計画**

時数	授業内容	時数	授業内容
1	シラバスの説明	19	・Web のしくみ
2	最新の IT 技術等の紹介	20	・電子メールのしくみ
3	コンピューターがどういう構成で動いているかを知る ・コンピューターの歴史を知る	21	・SNS、ショッピングサイト (EC) のしくみ ・クラウドサービスについて
4		22	
5	・ハードウェアとソフトウェア ・コンピューターを構成するいろいろな装置	23	サーバとは何かを知る ・クライアント/サーバシステム
6		24	
7	・いろいろな用途のコンピューター ・OS の種類と特徴	25	・いろいろなサーバ ・サーバソフトウェア
8		26	
9	・いろいろなアプリケーション ・これまでのまとめ、ネットワーク・サーバについての導入	27	プログラムはどうやって動くかを知る ・いろんなプログラム言語 (1)
10		28	
11	ネットワークはどうやってつながるかを知る ・ネットワークの種類	29	・いろんなプログラム言語 (2) セキュリティについて知る
12		30	
13	・ネットワークでの住所の決め方 ・通信の規格と階層モデルの考え方	31	・ウィルスとは ・不正アクセスとは
14		32	
15	・ネットワークにかかわる装置 ・無線 LAN はどうやってつながるか	33	・パスワードの作法 ・セキュリティ事故
16		34	
17	インターネットがどういう構成で動いているかを知る ・回線とプロバイダー	35	全体のまとめ 振り返り
18		36	

成績評価	小テスト 60%	興味のある IT 分野についての小論文 40%
------	----------	-------------------------

専門学校アイデア IT カレッジ阿蘇

対面（集合）型 オンライン オンライン（オンデマンド・動画）

学習支援計画書（シラバス）

2022年 6月 30日

(1) 年次	<input type="checkbox"/> 一般科目 <input checked="" type="checkbox"/> 専門科目 <input type="checkbox"/> 選択科目
<input checked="" type="checkbox"/> ITソリューション <input checked="" type="checkbox"/> グローバルITビジネス	授業科目名 : Microsoft Office 科目番号 : SRC6
担当教員名 : 三好 正純	

● **ねらい、到達目標**

ねらい：どの業界でも必要となる「文書の編集、校閲、図表やグラフの作成、表計算、プレゼン資料の作成など」代表的な Office ソフトの Word、Excel、PowerPoint の機能と操作の基本を理解し適切に活用できるようになる。

到達目標：①Word の基本機能と文書作成方法を理解し、操作できる。
 ②Excel の基本機能と関数等の使用方法を理解し、操作できる。
 ③PowerPoint の基本機能と資料作成方法を理解し、操作できる。

● **科目概要**

1. Word の基本機能と文書を作成する方法を学び、実践する。
 2. Excel の基本機能と表の作成、関数の使用方法を学び、実践する。
 3. PowerPoint の基本機能と操作方法を学び、プレゼン資料の作成・発表を実践する。

● **授業計画**

時数	授業内容	時数	授業内容
1	シラバスの説明	19	Excel グラフの作成
2	タイピングの基礎	20	Excel グラフの作成
3	Word 基本機能と文書作成の基礎	21	Excel データの管理・集計・分析
4	Word 基本機能と文書作成の基礎	22	Excel データの管理・集計・分析
5	Word 書式設定とページレイアウト	23	Excel ページレイアウト機能
6	Word 書式設定とページレイアウト	24	Excel ピボットテーブルとグラフ
7	Word 図表入り文書の作成	25	Excel 並べ替え、フィルター、ドロップダウン機能
8	Word 図表入り文書の作成	26	Excel Word 文書への利用
9	Word 数式の入力	27	Excel 表・グラフ作成の応用
10	Word 文書の校閲	28	Excel 表・グラフ作成の応用
11	Word 文書作成の応用	29	PowerPoint 基本機能と資料作成の基礎
12	Word 文書作成の応用	30	PowerPoint 基本機能と資料作成の基礎
13	Excel 基本機能と表作成の基礎	31	PowerPoint 配置、図・表の作成、写真・動画の挿入
14	Excel 基本機能と表作成の基礎	32	PowerPoint プレゼンサポート機能、著作権
15	Excel 関数を利用した表計算	33	PowerPoint プレゼン資料作成の応用
16	Excel 関数を利用した表計算	34	PowerPoint プレゼン資料作成の応用
17	Excel 関数を利用した表計算	35	成果発表 (Word, Excel, PowerPoint の総括)
18	振り返り	36	振り返り

成績評価	レポート（60%；毎授業の課題）と成果発表（40%；ポスター発表）で評価し、合計を総合評価（100%）とする。総合評価が60%以上で目標達成（合格）とする。
------	--

対面（集合）型
 オンライン
 オンライン（オンデマンド・動画）

学習支援計画書（シラバス）

2022年6月30日

(1) 年次	<input type="checkbox"/> 一般科目 <input checked="" type="checkbox"/> 専門科目 <input type="checkbox"/> 選択科目
<input type="checkbox"/> ITソリューション <input checked="" type="checkbox"/> グローバルITビジネス	授業科目名： 観光ガイド概論 科目番号：SRGI
担当教員名： 下城卓也 【実務経験】NPO 法人 ASO 田園空間博物館、道の駅阿蘇の駅長にて、旅行コンテンツとして阿蘇の草原を活用したガイド事業を立ち上げて運営しており、その経験を活かす。	

● ねらい、到達目標

ねらい：学生は、観光業としてのガイドの種別、役割、重要性を理解することができる。
 到達目標：働くうえでガイドを目指す学生は、ガイドの種別・雇用形態・役割を把握し、必要な能力、知識、スキルを理解することができる。また、ガイドではなくその他の職種に就く学生は、どのようにガイドと連携すれば自らの仕事にプラスとなっていくのかを理解し、業務に役立てることができる。

● 科目概要

1. 主な観光ガイドの種類、役割を把握します。
2. 観光ガイドに必要なスキル、能力を理解します。
3. 代表的な観光ガイドの実態をガイド事業者より説明してもらい、実践へつなげます。

● 授業計画

時数	授業内容	時数	授業内容
1	観光ガイドとは	19	ガイド実例（バスガイド）
2	観光ガイドとは	20	ガイド実例（バスガイド）
3	観光ガイドの種類と特徴1	21	ガイド実例（地震の語り部）
4	観光ガイドの種類と特徴1	22	ガイド実例（地震の語り部）
5	観光ガイドの種類と特徴2	23	小テスト（答え合わせ）
6	観光ガイドの種類と特徴2	24	小テスト（答え合わせ）
7	ガイドとして必要なスキルとは	25	ガイド実例（観光案内ガイド）
8	ガイドとして必要なスキルとは	26	ガイド実例（観光案内ガイド）
9	小テスト（答え合わせ）	27	ガイド実例（牧野ガイド）
10	小テスト（答え合わせ）	28	ガイド実例（牧野ガイド）
11	ガイド実例（サイクルツーリズムガイド）	29	ガイドの実例（ホテルコンシェルジュ）
12	ガイド実例（サイクルツーリズムガイド）	30	ガイドの実例（ホテルコンシェルジュ）
13	ガイド実例（ジオガイド）	31	ガイド実例（サイクルツーリズムガイド2）
14	ガイド実例（ジオガイド）	32	ガイド実例（サイクルツーリズムガイド2）
15	ガイド実例（パラグライダーガイド）	33	ガイドの情報発信実例
16	ガイド実例（パラグライダーガイド）	34	ガイドの情報発信実例
17	ガイド実例（山岳ガイド）	35	テスト（答え合わせ）
18	ガイド実例（山岳ガイド）	36	テスト（答え合わせ）

成績評価	小テスト 前期2, 3回実施 30%、テスト 30% 受講態度 30% 出席率 15回以上 10%（合格ライン65以上）
------	--

対面（集合）型 オンライン オンライン（オンデマンド・動画）

学習支援計画書（シラバス）

2022年6月30日

(1) 年次	<input type="checkbox"/> 一般科目 <input checked="" type="checkbox"/> 専門科目 <input type="checkbox"/> 選択科目
<input type="checkbox"/> ITソリューション <input checked="" type="checkbox"/> グローバルITビジネス	授業科目名： 観光ガイド実習 科目番号：SRG2
担当教員名： 下城卓也 【実務経験】NPO 法人 ASO 田園空間博物館、道の駅阿蘇の駅長にて、旅行コンテンツとして阿蘇の草原を活用したガイド事業を立ち上げて運営しており、その経験を活かす。	

● **ねらい、到達目標**

ねらい：学生は、実際のフィールドでガイドを受ける観光客としての立場と、観光客を案内するガイドとしての立場の両方を経験することができる。双方の立場を理解することで、新たな観光リソース発見方法や効果的な外ディンクを学べる。

到達目標：観光ガイドを観光客の立場で受けることで、ガイドの重要性、効果を理解することができる。その後学生でガイドチームを組み現地を調査、ガイドプログラムを作成する。さらにチーム間でガイド、観光客の立場をロールプレイし、結果をお互いに検証しあうことでより効果的なガイディングを創造できる。

● **科目概要**

1. 実際のフィールドでプロガイドより案内を受け、内容を考察する。
2. 学生5名一組でガイドチームを構成し、ガイドフィールドの地形、風土、歴史、商業施設等を調査する。
3. 調査をもとにガイドプログラムを作成し、現地にてロールプレイでガイドを行い、アンケート調査を実施する。
4. ガイドプログラムのプレゼン資料を作成するとともに、アンケート調査を取りまとめ、結果を発表する。

● **授業計画**

時数	授業内容	時数	授業内容
1	フィールドでのガイド受講1	19	ガイド実施1
2	フィールドでのガイド受講2	20	ガイド実施2
3	フィールドでのガイド受講3	21	ガイド実施3
4	フィールドでのガイド受講4	22	ガイド実施4
5	フィールドでのガイド受講5	23	ガイド実施5
6	フィールドでのガイド受講6	24	ガイド実施6
7	フィールドでのガイド受講7	25	ガイド実施7
8	フィールドでのガイド受講8	26	ガイド実施8
9	ガイドプログラム作成1	27	ガイド実施9
10	ガイドプログラム作成2	28	ガイド実施10
11	ガイドプログラム作成3	29	ガイド結果発表1
12	ガイドプログラム作成4	30	ガイド結果発表2
13	ガイドプログラム作成5	31	ガイド結果発表3
14	ガイドプログラム作成6	32	ガイド結果発表4
15	ガイドプログラム作成7	33	ガイド結果発表5
16	ガイドプログラム作成8	34	ガイド結果発表6
17	ガイドプログラム作成9	35	テスト（答え合わせ）
18	ガイドプログラム作成10	36	テスト（答え合わせ）

成績評価	ガイドプログラム作成30%、ガイド結果発表30% 受講態度30%、出席率15回以上10%（合格ライン65以上）
------	--

対面（集合）型 オンライン オンライン（オンデマンド・動画）

学習支援計画書（シラバス）

2022年 6月 30日

() 年次	<input type="checkbox"/> 一般科目 <input checked="" type="checkbox"/> 専門科目 <input type="checkbox"/> 選択科目
<input type="checkbox"/> ITソリューション <input checked="" type="checkbox"/> グローバルITビジネス	授業科目名：外国語（Business English）科目番号：SRG3
担当教員名：Tim Wu	

● ねらい、到達目標

- ①ビジネスシーンにおける英語の表現方法を習得する
- ②観光業界、サービス産業で使用する英語の表現方法を習得する
- ③ビジネスメールや広告などにおけるライティング英語を習得する

● 科目概要

ネイティブスピーカーの講師を招聘し、初回にクラス分けテストを行い、少人数にわかれ授業を実施する。ビジネスシーンにおける英語の表現や、正しい言い回し、語彙を学び、適切な言葉遣いを習得する。また、国際ビジネスや観光業界やサービス産業で使用する英語の習得を目指す。ビジネスメールや広告を英語で運用することも視野に入れ、ライティング英語の習得も目指す。

● 授業計画

時数	授業内容	時数	授業内容	時数	授業内容	時数	授業内容
1	オリエンテーション	19	Unit8	37	オリエンテーション	55	Unit23
2	Placement Test	20	Unit8	38	オリエンテーション	56	Unit23
3	Unit1	21	Unit9	39	Unit16	57	Unit24
4	Unit1	22	Unit9	40	Unit16	58	Unit24
5	Unit2	23	Unit10	41	Unit17	59	Unit25
6	Unit2	24	Unit10	42	Unit17	60	Unit25
7	Unit3	25	Unit11	43	Unit18	61	Unit26
8	Unit3	26	Unit11	44	Unit18	62	Unit26
9	Unit4	27	Unit12	45	Unit19	63	Unit27
10	Unit4	28	Unit12	46	Unit19	64	Unit27
11	Unit5	29	Unit13	47	Unit20	65	Unit28
12	Unit5	30	Unit13	48	Unit20	66	Unit28
13	Unit6	31	Unit14	49	Unit21	67	Unit29
14	Unit6	32	Unit14	50	Unit21	68	Unit29
15	Unit7	33	Unit15	51	Unit22	69	Unit30
16	Unit7	34	Unit15	52	Unit22	70	Unit30
17	Mid-term Assessment	35	Mid-term Assessment	53	Mid-term Assessment	71	Final Assessment
18	Mid-term Assessment	36	Mid-term Assessment	54	Mid-term Assessment	72	Final Assessment

成績評価	出席14回以上 40% 個人課題 30% 中間テスト・期末テスト 30%
------	--------------------------------------

- 対面（集合）型 オンライン オンライン（オンデマンド・動画）

学習支援計画書（シラバス）

2022年 6月 30日

(2) 年次	<input type="checkbox"/> 一般科目 <input checked="" type="checkbox"/> 専門科目 <input type="checkbox"/> 選択科目
<input type="checkbox"/> ITソリューション <input checked="" type="checkbox"/> グローバルITビジネス	授業科目名：外国語（Business English） 科目番号：SRG3
担当教員名：Tim Wu	

● ねらい、到達目標

- ①ビジネスシーンにおける英語の表現方法を習得する
- ②観光業界、サービス産業で使用する英語の表現方法を習得する
- ③ビジネスメールや広告などにおけるライティング英語を習得する

● 科目概要

ネイティブスピーカーの講師を招聘し、初回にクラス分けテストを行い、少人数にわかれ授業を実施する。ビジネスシーンにおける英語の表現や、正しい言い回し、語彙を学び、適切な言葉遣いを習得する。また、国際ビジネスや観光業界やサービス産業で使用する英語の習得を目指す。ビジネスメールや広告を英語で運用することも視野に入れ、ライティング英語の習得も目指す。

● 授業計画

時数	授業内容	時数	授業内容	時数	授業内容	時数	授業内容
1	オリエンテーション	19	Unit8	37	オリエンテーション	55	Unit23
2	Placement Test	20	Unit8	38	オリエンテーション	56	Unit23
3	Unit1	21	Unit9	39	Unit16	57	Unit24
4	Unit1	22	Unit9	40	Unit16	58	Unit24
5	Unit2	23	Unit10	41	Unit17	59	Unit25
6	Unit2	24	Unit10	42	Unit17	60	Unit25
7	Unit3	25	Unit11	43	Unit18	61	Unit26
8	Unit3	26	Unit11	44	Unit18	62	Unit26
9	Unit4	27	Unit12	45	Unit19	63	Unit27
10	Unit4	28	Unit12	46	Unit19	64	Unit27
11	Unit5	29	Unit13	47	Unit20	65	Unit28
12	Unit5	30	Unit13	48	Unit20	66	Unit28
13	Unit6	31	Unit14	49	Unit21	67	Unit29
14	Unit6	32	Unit14	50	Unit21	68	Unit29
15	Unit7	33	Unit15	51	Unit22	69	Unit30
16	Unit7	34	Unit15	52	Unit22	70	Unit30
17	Mid-term Assessment	35	Mid-term Assessment	53	Mid-term Assessment	71	Final Assessment
18	Mid-term Assessment	36	Mid-term Assessment	54	Mid-term Assessment	72	Final Assessment

成績評価	出席14回以上 40% 個人課題 30% 中間テスト・期末テスト 30%
------	--------------------------------------

- 対面（集合）型 オンライン オンライン（オンデマンド・動画）

学習支援計画書（シラバス）

2022年 6月 30日

() 年次	<input type="checkbox"/> 一般科目 <input checked="" type="checkbox"/> 専門科目 <input type="checkbox"/> 選択科目
<input type="checkbox"/> ITリユージョン <input checked="" type="checkbox"/> グローバルITビジネス	授業科目名：外国語（Accuracy & Fluency）科目番号：SRG4
担当教員名：Karen Rusk	

● ねらい、到達目標

- ①英語の正しい発音を習得する
- ②英語の語彙の正確性を高め、適切な表現方法を習得する
- ③スピーキングスキルを習得する

● 科目概要

ネイティブスピーカーの講師を招聘し、初回にクラス分けテストを行い、少人数にわかれ授業を実施する。英語の正しい発音や、語彙の正確性を高めることに焦点を置き、スピーキング形式で授業を進めていく。少ないボキャブラリーの中でも、英語を使ったコミュニケーション、意思疎通を問題なく取れるようになることを目指す。

● 授業計画

時数	授業内容	時数	授業内容	時数	授業内容	時数	授業内容
1	オリエンテーション	19	Unit8	37	オリエンテーション	55	Unit23
2	Placement Test	20	Unit8	38	オリエンテーション	56	Unit23
3	Unit1	21	Unit9	39	Unit16	57	Unit24
4	Unit1	22	Unit9	40	Unit16	58	Unit24
5	Unit2	23	Unit10	41	Unit17	59	Unit25
6	Unit2	24	Unit10	42	Unit17	60	Unit25
7	Unit3	25	Unit11	43	Unit18	61	Unit26
8	Unit3	26	Unit11	44	Unit18	62	Unit26
9	Unit4	27	Unit12	45	Unit19	63	Unit27
10	Unit4	28	Unit12	46	Unit19	64	Unit27
11	Unit5	29	Unit13	47	Unit20	65	Unit28
12	Unit5	30	Unit13	48	Unit20	66	Unit28
13	Unit6	31	Unit14	49	Unit21	67	Unit29
14	Unit6	32	Unit14	50	Unit21	68	Unit29
15	Unit7	33	Unit15	51	Unit22	69	Unit30
16	Unit7	34	Unit15	52	Unit22	70	Unit30
17	Mid-term Assessment	35	Mid-term Assessment	53	Mid-term Assessment	71	Final Assessment
18	Mid-term Assessment	36	Mid-term Assessment	54	Mid-term Assessment	72	Final Assessment

成績評価	出席14回以上 40% 個人課題 30% 中間テスト・期末テスト 30%
------	--------------------------------------

- 対面（集合）型 オンライン オンライン（オンデマンド・動画）

学習支援計画書（シラバス）

2026年 6月 30日

(2) 年次	<input type="checkbox"/> 一般科目 <input checked="" type="checkbox"/> 専門科目 <input type="checkbox"/> 選択科目
<input type="checkbox"/> ITソリューション <input checked="" type="checkbox"/> グローバルITビジネス	授業科目名：外国語（Accuracy & Fluency）科目番号：SRG4
担当教員名：Karen Rusk	

● ねらい、到達目標

- ①英語の正しい発音を習得する
- ②英語の語彙の正確性を高め、適切な表現方法を習得する
- ③スピーキングスキルを習得する

● 科目概要

ネイティブスピーカーの講師を招聘し、初回にクラス分けテストを行い、少人数にわかれ授業を実施する。英語の正しい発音や、語彙の正確性を高めることに焦点を置き、スピーキング形式で授業を進めていく。少ないボキャブラリーの中でも、英語を使ったコミュニケーション、意思疎通を問題なく取れるようになることを目指す。

● 授業計画

時数	授業内容	時数	授業内容	時数	授業内容	時数	授業内容
1	オリエンテーション	19	Unit8	37	オリエンテーション	55	Unit23
2	Placement Test	20	Unit8	38	オリエンテーション	56	Unit23
3	Unit1	21	Unit9	39	Unit16	57	Unit24
4	Unit1	22	Unit9	40	Unit16	58	Unit24
5	Unit2	23	Unit10	41	Unit17	59	Unit25
6	Unit2	24	Unit10	42	Unit17	60	Unit25
7	Unit3	25	Unit11	43	Unit18	61	Unit26
8	Unit3	26	Unit11	44	Unit18	62	Unit26
9	Unit4	27	Unit12	45	Unit19	63	Unit27
10	Unit4	28	Unit12	46	Unit19	64	Unit27
11	Unit5	29	Unit13	47	Unit20	65	Unit28
12	Unit5	30	Unit13	48	Unit20	66	Unit28
13	Unit6	31	Unit14	49	Unit21	67	Unit29
14	Unit6	32	Unit14	50	Unit21	68	Unit29
15	Unit7	33	Unit15	51	Unit22	69	Unit30
16	Unit7	34	Unit15	52	Unit22	70	Unit30
17	Mid-term Assessment	35	Mid-term Assessment	53	Mid-term Assessment	71	Final Assessment
18	Mid-term Assessment	36	Mid-term Assessment	54	Mid-term Assessment	72	Final Assessment

成績評価	出席14回以上 40% 個人課題 30% 中間テスト・期末テスト 30%
------	--------------------------------------

- 対面（集合）型 オンライン オンライン（オンデマンド・動画）

学習支援計画書（シラバス）

2022年6月30日

() 年次	<input type="checkbox"/> 一般科目 <input checked="" type="checkbox"/> 専門科目 <input type="checkbox"/> 選択科目
<input type="checkbox"/> ITソリューション <input checked="" type="checkbox"/> グローバルITビジネス	授業科目名 : 黒川温泉特別フィールドワーク I 科目番号 : SRG5
担当教員名 : 北山元 (黒川温泉観光旅館協同組合)	

● **ねらい、到達目標**

ねらい：学生は、黒川温泉におけるおもてなしの心や取り組みを、フィールドワークを通してケーススタディとして学ぶことができます。

到達目標：

- ・フィールドワークを通して地域を見る目を養うことを目指します。
- ・これまでの取り組みを客観的に捉え、仮説や問いを立てる力を身に付けることを目指します。
- ・黒川温泉のこれまでの取り組みについて課題を設定し、さらによくなるような提案をします。

● **科目概要**

- ・黒川温泉の歴史と概要
- ・黒川温泉でのフィールドワーク
- ・里山の暮らし、自然との共生、未来につなげる取り組み事例
- ・課題解決に向けたプレゼンテーション

● **授業計画**

時数	授業内容	時数	授業内容
1	オリエンテーション黒川温泉の歩みとこれから	19	学びの振り返りワーク
2	オリエンテーション黒川温泉の歩みとこれから	20	学びの振り返りワーク
3	フィールド研修（入湯手形が出来るまで）	21	フィールド研修（湯あかりイベント）
4	フィールド研修（入湯手形が出来るまで）	22	フィールド研修（湯あかりイベント）
5	フィールド研修（入湯手形が出来るまで）	23	フィールド研修（湯あかりイベント）
6	フィールド研修（入湯手形が出来るまで）	24	フィールド研修（湯あかりイベント）
7	フィールド研修（入湯手形が出来るまで）	25	フィールド研修（湯あかりイベント）
8	フィールド研修（入湯手形が出来るまで）	26	フィールド研修（湯あかりイベント）
9	フィールド研修（入湯手形が出来るまで）	27	学びの振り返りワーク
10	フィールド研修（入湯手形が出来るまで）	28	学びの振り返りワーク
11	フィールド研修（入湯手形体験）	29	学びの振り返りワーク
12	フィールド研修（入湯手形体験）	30	学びの振り返りワーク
13	フィールド研修（入湯手形体験）	31	プレゼンテーション
14	フィールド研修（入湯手形体験）	32	プレゼンテーション
15	フィールド研修（入湯手形体験）	33	プレゼンテーション
16	フィールド研修（入湯手形体験）	34	プレゼンテーション
17	フィールド研修（入湯手形体験）	35	プレゼンテーション
18	フィールド研修（入湯手形体験）	36	プレゼンテーション

成績評価	受講態度 50% 出席率 20% (28回以上) プレゼンテーション 30%
------	--

- 対面（集合）型
 オンライン
 オンライン（オンデマンド・動画）

学習支援計画書（シラバス）

2022年6月30日

(2) 年次	<input type="checkbox"/> 一般科目 <input checked="" type="checkbox"/> 専門科目 <input type="checkbox"/> 選択科目
<input type="checkbox"/> ITソリューション <input checked="" type="checkbox"/> グローバルITビジネス	授業科目名 : 黒川温泉特別フィールドワークⅡ 科目番号 : SRG6
担当教員名 : 北山元 (黒川温泉観光旅館協同組合)	

● **ねらい、到達目標**

ねらい：学生は、黒川温泉におけるおもてなしの心や取り組みを、フィールドワークを通してケーススタディとして学ぶことができる。

到達目標：

- ・フィールドワークを通して地域を見る目を養うことを目指します。
- ・これまでの取り組みを客観的に捉え、仮説や問いを立てる力を身に付けることを目指します。
- ・黒川温泉の課題を設定し、新たな企画や取り組みの提案をします。

● **科目概要**

- ・黒川温泉でのフィールドワーク
- ・里山の暮らし、自然との共生、未来につなげる取り組み事例
- ・課題解決に向けたプレゼンテーション

● **授業計画**

時数	授業内容	時数	授業内容
1	オリエンテーション	19	フィールド研修（つぐもプロジェクト）
2	オリエンテーション	20	フィールド研修（つぐもプロジェクト）
3	フィールド研修（課題を見つける旅）	21	グループワーク
4	フィールド研修（課題を見つける旅）	22	グループワーク
5	フィールド研修（課題を見つける旅）	23	設え研修・空間演出
6	フィールド研修（課題を見つける旅）	24	設え研修・空間演出
7	フィールド研修（課題を見つける旅）	25	設え研修・空間演出
8	フィールド研修（課題を見つける旅）	26	設え研修・空間演出
9	グループワーク	27	グループワーク
10	グループワーク	28	グループワーク
11	グループワーク	29	グループワーク
12	グループワーク	30	グループワーク
13	フィールド研修（つぐもプロジェクト）	31	プレゼンテーション
14	フィールド研修（つぐもプロジェクト）	32	プレゼンテーション
15	フィールド研修（つぐもプロジェクト）	33	プレゼンテーション
16	フィールド研修（つぐもプロジェクト）	34	プレゼンテーション
17	フィールド研修（つぐもプロジェクト）	35	プレゼンテーション
18	フィールド研修（つぐもプロジェクト）	36	プレゼンテーション

成績評価	受講態度 50% 出席率 20% (28回以上) プレゼンテーション 30%
------	--

- 対面（集合）型
 オンライン
 オンライン（オンデマンド・動画）

学習支援計画書（シラバス）

2022 年 6 月 30 日

(2) 年次	<input type="checkbox"/> 一般科目 <input checked="" type="checkbox"/> 専門科目 <input type="checkbox"/> 選択科目
<input type="checkbox"/> ITソリューション <input checked="" type="checkbox"/> グローバルITビジネス	授業科目名 : ホテル・ホスピタリティ編 科目番号 : SRG7
担当教員名 : 井手 修身	

● **ねらい、到達目標**

ねらい：ホテル業界についての基礎知識を学ぶ。
 ホテルスタッフに求められる能力、ホスピタリティマインドを活かす仕事であることを理解する。
 到達目標：①ホテル業界の基礎知識を習得する。
 ②ホスピタリティマインドを理解する。基礎的な知識を習得する。

● **科目概要**

ホテル業界についての基礎知識を学ぶ。ホテルの実務経験者から、現場のホテルスタッフに求められる能力、ホスピタリティマインドを活かす仕事であることを理解する。基礎的な知識を習得する。

● **授業計画**

時数	授業内容	時数	授業内容
1	全体ガイダンス	19	フロントサービスの業務、ホスピタリティマインド
2	ホテルとは何か	20	フロントサービスの業務、ホスピタリティマインド
3	ホテルとは何か	21	フロントサービスの業務、ホスピタリティマインド
4	ホテルとは何か	22	フロントサービスの業務、ホスピタリティマインド
5	ホテルの歴史・偉人・法律「旅館業法」	23	宿泊部門の業務
6	ホテルの歴史・偉人・法律「旅館業法」	24	宿泊部門の業務
7	ホテルの歴史・偉人・法律「旅館業法」	25	宿泊部門の業務
8	ホテルの歴史・偉人・法律「旅館業法」	26	宿泊部門の業務
9	ホテル内での様々な職種	27	料飲部門の業務
10	ホテル内での様々な職種	28	料飲部門の業務
11	ホテル内での様々な職種	29	料飲部門の業務
12	ホテル内での様々な職種	30	料飲部門の業務
13	ホテルスタッフに求められる能力	31	管理部門の業務
14	ホテルスタッフに求められる能力	32	管理部門の業務
15	ホテルスタッフに求められる能力	33	管理部門の業務
16	ホテルスタッフに求められる能力	34	管理部門の業務
17	小テスト	35	小テスト
18	小テスト	36	小テスト

成績評価	小テスト 実施 40% 受講態度 30% 出席15回以上 30%
------	-------------------------------------

専門学校アイデア IT カレッジ阿蘇

対面（集合）型 オンライン オンライン（オンデマンド・動画）

学習支援計画書（シラバス）

2022年 6月 30日

(2) 年次 <input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期	<input type="checkbox"/> 一般科目 <input checked="" type="checkbox"/> 専門科目 <input type="checkbox"/> 選択科目
<input type="checkbox"/> ITソリューション <input checked="" type="checkbox"/> グローバルITビジネス	授業科目名 : 通訳案内士対策（英語）I 科目番号 : SRG8
担当教員名 : 西田 直美 (連絡先 090-7297-9848)	

● ねらい、到達目標

ねらい：英語による通訳案内の基本を学ぶ。観光ガイド以外の場面も想定した通訳案内士の役割を理解するのがねらい。

到達目標：外国人の多様性の理解。国や文化によって通訳案内の方法が異なることを理解し、それを英語でどのように伝えるかを考え実践できるようにする基本を学ぶ。

● 科目概要

1. 通訳案内士とは（制度概要）
2. 英語通訳案内士講座基礎として、通訳案内に必要な基礎英語を学ぶ。
3. グループワーク：習得している英語を使って学生間で場面設定しロールプレイする。
4. 各人で作成した場面設定によるプレゼンテーションをする。

● 授業計画

時数	授業内容	時数	授業内容
1	通訳案内士概要講義	19	場面別ガイド英語表現②
2	通訳案内士概要講義	20	場面別ガイド英語表現②
3	自己紹介を学ぶ (how to introduce yourself)	21	フィールドワーク：地域通訳案内士に学ぶ①
4	自己紹介を学ぶ (how to introduce yourself)	22	フィールドワーク：地域通訳案内士に学ぶ①
5	通訳案内に必要な基本英語①(単語・表現)	23	フィールドワーク：地域通訳案内士に学ぶ②
6	通訳案内に必要な基本英語①(単語・表現)	24	フィールドワーク：地域通訳案内士に学ぶ②
7	通訳案内に必要な基本英語②(会話練習)	25	フィールドワーク：地域通訳案内士に学ぶ③
8	通訳案内に必要な基本英語②(会話練習)	26	フィールドワーク：地域通訳案内士に学ぶ③
9	基本英語による通訳案内練習①	27	フィールドワーク：地域通訳案内士に学ぶ④
10	基本英語による通訳案内練習①	28	フィールドワーク：地域通訳案内士に学ぶ④
11	基本英語による通訳案内練習②	29	現地英語ガイド実践①
12	基本英語による通訳案内練習②	30	現地英語ガイド実践①
13	基本英語による通訳案内練習③	31	現地英語ガイド実践②
14	基本英語による通訳案内練習③	32	現地英語ガイド実践②
15	基本英語による通訳案内練習④	33	現地英語ガイド実践③
16	基本英語による通訳案内練習④	34	現地英語ガイド実践③
17	場面別ガイド英語表現①	35	現地英語ガイド実践④
18	場面別ガイド英語表現①	36	現地英語ガイド実践④

成績評価	出席 10% 授業内小テスト 20% プレゼン評価 50% 授業貢献度 20%
------	--

対面（集合）型 オンライン オンライン（オンデマンド・動画）

学習支援計画書（シラバス）

2022年 6月 30日

(2) 年次 <input type="checkbox"/> 前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期	<input type="checkbox"/> 一般科目 <input checked="" type="checkbox"/> 専門科目 <input type="checkbox"/> 選択科目
<input type="checkbox"/> ITソリューション <input checked="" type="checkbox"/> グローバルITビジネス	授業科目名：通訳案内士対策（英語）Ⅱ 科目番号：SRG9
担当教員名：西田 直美	(連絡先 090-7297-9848)

● ねらい、到達目標

ねらい：英語による通訳案内の基本を学ぶ。観光ガイド以外の場面も想定した通訳案内士の役割を理解するのがねらい。

到達目標：外国人の多様性の理解。国や文化によって通訳案内の方法が異なることを理解し、それを英語でどのように伝えるかを考え実践できるようにする基本を学ぶ。

● 科目概要

1. 通訳案内士とは（制度概要）
2. 英語通訳案内士講座基礎として、通訳案内に必要な基礎英語を学ぶ。
3. グループワーク：習得している英語を使って学生間で場面設定しロールプレイする。
4. 各人で作成した場面設定によるプレゼンテーションをする。

● 授業計画

時数	授業内容	時数	授業内容
1	通訳案内表現中級①	19	フィールドワーク
2	通訳案内表現中級①	20	フィールドワーク
3	通訳案内表現中級②	21	外国人訪問客の特徴を学ぶ①
4	通訳案内表現中級②	22	外国人訪問客の特徴を学ぶ①
5	Making Guiding Plans ①	23	外国人訪問客の特徴を学ぶ②
6	Making Guiding Plans ①	24	外国人訪問客の特徴を学ぶ②
7	Presentation & Feedback ①	25	English for Guiding Review ①
8	Presentation & Feedback ①	26	English for Guiding Review ①
9	Making Guiding Plans ②	27	English for Guiding Review ②
10	Making Guiding Plans ②	28	English for Guiding Review ②
11	Presentation & Feedback ②	29	現地実習
12	Presentation & Feedback ②	30	現地実習
13	フィールドワーク	31	現地実習
14	フィールドワーク	32	現地実習
15	フィールドワーク	33	現地Presentation
16	フィールドワーク	34	現地Presentation
17	フィールドワーク	35	現地Presentation
18	フィールドワーク	36	現地Presentation

成績評価	出席 10% 授業内小テスト 20% プレゼン評価 50% 授業貢献度 20%
------	--

対面（集合）型 オンライン オンライン（オンデマンド・動画）

学習支援計画書（シラバス）

2022年6月30日

(1) 年次	<input type="checkbox"/> 一般科目 <input checked="" type="checkbox"/> 専門科目 <input type="checkbox"/> 選択科目
<input type="checkbox"/> ITソリューション <input checked="" type="checkbox"/> グローバルITビジネス	授業科目名 : 観光マーケティング基礎 科目番号 : SRG10
担当教員名：久保堯之 【実務経験】一般社団法人みなみあそ観光局をはじめ阿蘇地域の観光業に従事して、観光振興・観光地域づくり、観光マーケティング事業を实践しており、その経験を活かす。	

● **ねらい、到達目標**

ねらい：ビジネスの基礎となるマーケティング的思考を体系的に学ぶこと。

到達目標：基本的なフレームワークおよびマーケティング的思考に基づく事象の分析、戦略策定、指標管理までの一連の流れを理解していること。

● **科目概要**

前半で伝統的かつ現代でもベースとなっているマーケティング的思考方法の基礎を学び、後半で現代におけるマーケティングの変遷、実際のビジネスの現場における利活用などを学ぶ。

● **授業計画**

時数	授業内容	時数	授業内容
1	イントロダクション	19	行動経済学②
2	イントロダクション	20	行動経済学②
3	ロジカルシンキング（相関関係と因果関係）	21	ブランディング（定義）
4	ロジカルシンキング（フレームワーク）	22	ブランディング（手法と事例）
5	ロジカルシンキング（MECE、ロジックツリー）	23	プライシング戦略
6	ロジカルシンキング（空雨傘、四象限）	24	プライシング戦略
7	STP（セグメンテーション）	25	メディア戦略
8	STP（ターゲティング、ポジショニング）	26	メディア戦略
9	マーケティングミックス	27	マーケティング変遷（1.0から5.0へ）
10	マーケティングミックス	28	マーケティング変遷（ファンマーケ、D2C）
11	定性・定量指標（KGI、KSF、KPI）	29	ケーススタディ①
12	定性・定量指標（KGI、KSF、KPI）	30	ケーススタディ①
13	カスタマージャーニーマップ	31	ケーススタディ②
14	カスタマージャーニーマップ	32	ケーススタディ②
15	中間テスト	33	ケーススタディ③
16	中間テスト	34	ケーススタディ③
17	行動経済学①	35	期末テスト
18	行動経済学①	36	期末テスト

成績評価	出席率 40%、中間テスト 30%、期末テスト 30%、
------	------------------------------

対面（集合）型 オンライン オンライン（オンデマンド・動画）

学習支援計画書（シラバス）

2022年6月30日

(1) 年次	<input type="checkbox"/> 一般科目 <input checked="" type="checkbox"/> 専門科目 <input type="checkbox"/> 選択科目
<input type="checkbox"/> ITソリューション <input checked="" type="checkbox"/> グローバルITビジネス	授業科目名：観光マーケティング応用（観光地） 科目番号：SRG11
担当教員名：久保堯之 【実務経験】一般社団法人みなみあそ観光局をはじめ阿蘇地域の観光業に従事して、観光振興・観光地域づくり、観光マーケティング事業を実践しており、その経験を活かす。	

● **ねらい、到達目標**

ねらい：観光を活用した地域活性化の実情と、地域におけるステークホルダーを巻き込んだ観光地マネジメントの在り方を学ぶこと。また、観光地の地域全体としてのマーケティング戦略やブランディングの在り方を学ぶこと。

到達目標：観光地の課題や地域に根ざしたエリアマネジメントの在り方について理解し、またマーケティング的手法に基づく観光地域づくりの実践の一連の流れを身につけること。

● **科目概要**

前半は地域の置かれている現状や「観光地域づくり」の概念を学び、後半は実際に自分で地域を設定して実践的に調査、方向性の策定、戦略立案と戦略に基づくアクションプランニングまでを行い、それぞれ提案として発表を行う。

● **授業計画**

時数	授業内容	時数	授業内容
1	イントロダクション	19	テスト
2	イントロダクション	20	テスト
3	地域振興と観光地域づくり	21	観光地マーケティング実践（イントロ）
4	地域振興と観光地域づくり	22	観光地マーケティング実践（テーマ設定）
5	観光地域づくり PF と DMO の役割	23	観光地マーケティング実践（調査）
6	観光地域づくり PF と DMO の役割	24	観光地マーケティング実践（調査）
7	観光地ブランディング	25	観光地マーケティング実践（調査）
8	観光地ブランディング	26	観光地マーケティング実践（調査）
9	観光統計・ビックデータの利活用	27	観光地マーケティング実践（方向性の策定）
10	観光統計・ビックデータの利活用	28	観光地マーケティング実践（方向性の策定）
11	レスポンス・ツーリズム	29	観光地マーケティング実践（戦略策定）
12	サステイナブル・ツーリズム	30	観光地マーケティング実践（戦略策定）
13	観光地マーケティング事例①	31	観光地マーケティング実践（活動策定）
14	観光地マーケティング事例①	32	観光地マーケティング実践（活動策定）
15	観光地マーケティング事例②	33	観光地マーケティング実践（発表）
16	観光地マーケティング事例②	34	観光地マーケティング実践（発表）
17	観光地マーケティング事例③	35	観光地マーケティング実践（発表）
18	観光地マーケティング事例③	36	観光地マーケティング実践（発表）

成績評価	出席 40%、テスト 30%、発表 30%、
------	------------------------

対面（集合）型
 オンライン
 オンライン（オンデマンド・動画）

学習支援計画書（シラバス）

2022年6月30日

(2) 年次	<input type="checkbox"/> 一般科目 <input checked="" type="checkbox"/> 専門科目 <input type="checkbox"/> 選択科目
<input type="checkbox"/> ITソリューション <input checked="" type="checkbox"/> グローバルITビジネス	授業科目名：観光マーケティング応用（観光施設） 科目番号：SRG12
担当教員名：久保堯之 【実務経験】一般社団法人みなみあそ観光局をはじめ阿蘇地域の観光業に従事して、観光振興・観光地域づくり、観光マーケティング事業を実践しており、その経験を活かす。	

● **ねらい、到達目標**

ねらい：個別の観光事業者（宿泊、飲食、体験、物産）でのマーケティングの実践方法について学ぶ。特に、各分野でのカスタマージャーニーや予約方法の市場動向を知り、また各予約サイトの操作方法などを重点的におさえる。

到達目標：旅行商品（宿泊、飲食、体験、物産）の商品設計や商流について理解し、売れる仕組みづくりや実際のオペレーション方法について身に付けること。

● **科目概要**

旅行商品（宿泊、飲食、体験、物産）の各分野での商流や商品づくり、カスタマージャーニーの設計および実装方法について実践的に学ぶ。後半は個別の企業に着目し、それぞれの企業がどのような生き残り戦略に基づき経営や商品づくりを行っているかを分析し、レポートにまとめ、理解を深める。

● **授業計画**

時数	授業内容	時数	授業内容
1	イントロダクション	19	飲食ビジネス（コンセプトと営業戦略）
2	イントロダクション	20	飲食ビジネス（メニュー設計と価格戦略）
3	旅行商品とその商流	21	飲食ビジネス（誘客施策と情報発信）
4	旅行商品の商流のトレンド	22	飲食ビジネス（誘客施策と情報発信）
5	宿泊ビジネス（商品設計）	23	飲食ビジネス（ケーススタディ）
6	宿泊ビジネス（商流と販売チャンネル戦略）	24	飲食ビジネス（ケーススタディ）
7	宿泊ビジネス（OTA 概要）	25	物産ビジネス（コンセプトと商品設計）
8	宿泊ビジネス（OTA 概要）	26	物産ビジネス（コンセプトと商品設計）
9	宿泊ビジネス（OTA 実践）	27	物産ビジネス（商流と販売チャンネル戦略）
10	宿泊ビジネス（OTA 実践）	28	物産ビジネス（商流と販売チャンネル戦略）
11	宿泊ビジネス（ケーススタディ）	29	物産ビジネス（ケーススタディ）
12	宿泊ビジネス（ケーススタディ）	30	物産ビジネス（ケーススタディ）
13	体験ビジネス（商品設計）	31	観光施設ケーススタディ（テーマ設定）
14	体験ビジネス（商流と販売チャンネル戦略）	32	観光施設ケーススタディ（調査）
15	体験ビジネス（誘客と予約オペレーション）	33	観光施設ケーススタディ（分析）
16	体験ビジネス（誘客と予約オペレーション）	34	観光施設ケーススタディ（分析）
17	体験ビジネス（ケーススタディ）	35	観光施設ケーススタディ（発表）
18	体験ビジネス（ケーススタディ）	36	観光施設ケーススタディ（発表）

成績評価	出欠 40%、発表 30%、レポート 30%、
------	-------------------------

対面（集合）型
 オンライン
 オンライン（オンデマンド・動画）

学習支援計画書（シラバス）

2022年6月30日

(2) 年次	<input type="checkbox"/> 一般科目 <input checked="" type="checkbox"/> 専門科目 <input type="checkbox"/> 選択科目
<input type="checkbox"/> ITソリューション <input checked="" type="checkbox"/> グローバルITビジネス	授業科目名：観光マーケティング応用（インバウンド） 科目番号： SRG13
担当教員名：久保堯之	

● **ねらい、到達目標**

ねらい：世界の観光ビジネス動向、日本におけるインバウンド市場について知ること。また、市場ごとの特性やインバウンド向けの商品設計や情報発信について実践的に学ぶこと。

到達目標：国内観光とインバウンドの違いを理解し、具体的な対応方法を把握し、それらを実践できるようになること。

● **科目概要**

前半は国際旅行市場の広がり、各市場特性、国内旅行と国際旅行の実務上での違いとその対応方法について学び、後半は実践編としてインバウンド・マーケティングの一連の流れ（ターゲット設定、顧客価値の定義とメッセージの作成、商品づくり、情報発信、改善）の実践を行い、発表までを行う。

● **授業計画**

時数	授業内容	時数	授業内容
1	イントロダクション	19	食文化への理解（ベジ、ビーガン、ハラル）
2	イントロダクション	20	食文化への理解（ベジ、ビーガン、ハラル）
3	世界の観光市場動向	21	決済環境の市場動向
4	世界の観光市場動向	22	決済環境の市場動向
5	日本の観光市場の変化とインバウンド動向	23	インバウンド向け情報発信
6	日本の観光市場の変化とインバウンド動向	24	インバウンド向け情報発信
7	インバウンドビジネス概要	25	実践（調査）
8	インバウンドビジネス概要	26	実践（調査）
9	インバウンド市場特性（東アジア）	27	実践（戦略策定）
10	インバウンド市場特性（東アジア）	28	実践（戦略策定）
11	インバウンド市場特性（東南アジア）	29	実践（商品企画）
12	インバウンド市場特性（東南アジア）	30	実践（商品企画）
13	インバウンド市場特性（欧米豪）	31	実践（販路と情報発信）
14	インバウンド市場特性（欧米豪）	32	実践（販路と情報発信）
15	インバウンド向け交通政策（航空、鉄道）	33	実践（ブラッシュアップ）
16	インバウンド向け交通政策（クルーズ）	34	実践（ブラッシュアップ）
17	多言語コミュニケーション	35	実践（発表）
18	ビジュアルコミュニケーションとピクトグラム	36	実践（発表）

成績評価	出欠 40% 、発表 60%、
------	-----------------

対面（集合）型 オンライン オンライン（オンデマンド・動画）

学習支援計画書（シラバス）

2022年6月30日

(2) 年次	<input type="checkbox"/> 一般科目 <input checked="" type="checkbox"/> 専門科目 <input type="checkbox"/> 選択科目
<input type="checkbox"/> ITソリューション <input checked="" type="checkbox"/> グローバルITビジネス	授業科目名：観光マーケティング応用（デジタル） 科目番号：SRG14
担当教員名：久保堯之	

● **ねらい、到達目標**

ねらい：インターネット（WEB サイトや SNS）やデジタルデバイスを生かしたマーケティング手法を実践的に学ぶこと。

到達目標：デジタルマーケティングの全体像を理解し、個別の施策（WEB サイトや SNS 運用、データ分析）が実践できるようになること。

● **科目概要**

前半はデジタルマーケティングの全体像と、WEB サイトや SNS の具体的な運用方法、インターネット広告運用について網羅的に学び、後半ではそれを仮説に基づき運用、分析して改善を行うという一連の流れを実践し、最後に発表を行う。

● **授業計画**

時数	授業内容	時数	授業内容
1	イントロダクション	19	インターネット広告（種類と役割）
2	イントロダクション	20	インターネット広告（種類と役割）
3	デジタルマーケティングとマルチメディア戦略	21	インターネット広告（運用・管理方法）
4	デジタルマーケティングとマルチメディア戦略	22	インターネット広告（運用・管理方法）
5	WEB サイト（概要）	23	ビッグデータの取り扱いと個人情報保護
6	WEB サイト（運用方法）	24	ビッグデータの取り扱いと個人情報保護
7	SEO 対策と Google アナリティクス	25	実践（テーマ設定）
8	SEO 対策と Google アナリティクス	26	実践（調査）
9	Instagram（概要）	27	実践（運用①）
10	Instagram（運用方法）	28	実践（運用①）
11	Facebook（概要）	29	実践（分析、改善）
12	Facebook（運用方法）	30	実践（分析、改善）
13	Twitter（概要）	31	実践（運用②）
14	Twitter（運用方法）	32	実践（運用②）
15	YouTube（概要）	33	実践（振り返り）
16	YouTube（運用方法）	34	実践（振り返り）
17	Google マイビジネス（概要）	35	実践（発表）
18	Google マイビジネス（運用方法）	36	実践（発表）

成績評価	出欠 40%、発表 30%、レポート 30%、
------	-------------------------

対面（集合）型
 オンライン
 オンライン（オンデマンド・動画）

学習支援計画書（シラバス）

2022年 6月 30日

(2) 年次	<input type="checkbox"/> 一般科目 <input checked="" type="checkbox"/> 専門科目 <input type="checkbox"/> 選択科目
<input type="checkbox"/> ITソリューション <input checked="" type="checkbox"/> グローバルITビジネス	授業科目名 : EC基礎・実践 科目番号 : SRG15
担当教員名 : 鈴木 俊良	

● ねらい、到達目標

- ①ECビジネスの概要を理解する
- ②ECサイトの作成と管理方法を理解する
- ③ECサイトへの集客、運営方法を理解する

● 科目概要

観光施設における必要度が増してきているECビジネスの概要を理解し、実際に自らの手でECサイトの作成し、管理方法の実践を行う。また、デジタルマーケティングの授業とも連携し、集客や運営方法を学び、実践をおこなう。

● 授業計画

時数	授業内容	時数	授業内容
1	ECビジネスの概要	19	ASP運営講座（デザイン）
2	ECビジネスの概要	20	ASP運営講座（デザイン）
3	ECサイト研究	21	ECサイト作成②
4	ECサイト研究	22	ECサイト作成②
5	ECサイト作成①	23	ECサイト作成②
6	ECサイト作成①	24	ECサイト作成②
7	ケーススタディ（ASP）	25	中間報告
8	ケーススタディ（ASP）	26	中間報告
9	ケーススタディ（オープンソース）	27	ASP運営講座（SNSとの連携）
10	ケーススタディ（オープンソース）	28	ASP運営講座（SNSとの連携）
11	ケーススタディ（楽天市場）	29	ASP運営講座（決済方法）
12	ケーススタディ（楽天市場）	30	ASP運営講座（決済方法）
13	ケーススタディ（越境EC）	31	ECサイト作成③
14	ケーススタディ（越境EC）	32	ECサイト作成③
15	ASP運営講座（コンセプト）	33	ECサイト作成③
16	ASP運営講座（コンセプト）	34	ECサイト作成③
17	ASP運営講座（ターゲティング）	35	最終報告
18	ASP運営講座（ターゲティング）	36	最終報告

成績評価	出席14回以上 50% 課題提出 50%
------	----------------------

対面（集合）型 オンライン オンライン（オンデマンド・動画）

学習支援計画書（シラバス）

2022年6月30日

() 年次	<input type="checkbox"/> 一般科目 <input checked="" type="checkbox"/> 専門科目 <input type="checkbox"/> 選択科目
<input type="checkbox"/> ITソリューション <input checked="" type="checkbox"/> グローバルITビジネス	授業科目名：プレゼンテーション 科目番号：SRG16
担当教員名：久保亮之 【実務経験】一般社団法人みなみあそ観光局をはじめ阿蘇地域の観光業に従事して、観光振興・観光地域づくり、観光マーケティング事業を実践しており、その経験を活かす。	

● **ねらい、到達目標**

<p>ねらい：ビジネスの場（BtoB、BtoC）で通用する実践的なプレゼンテーションの構成力、および表現力を習得すること。また、人前でも臆することなく日本語や英語で話す自信をつけること。</p> <p>到達目標：日本語・英語問わずビジネスシーンでのプレゼンテーションを実施できるようになること。</p>

● **科目概要**

<p>前半は自己紹介や出身地紹介など身近なテーマで人前で発表する練習を繰り返し行う。後半はビジネスの現場を想定し、より実践的な内容で日本語・英語でのプレゼンテーションの実践を行う</p>

● **授業計画**

時数	授業内容	時数	授業内容
1	1分プレゼン（自己紹介：日本語）発表	19	1分プレゼン（自由テーマ：英語）発表
2	プレゼンの構成パターン	20	ビジネスにおけるプレゼンの位置づけ
3	3分プレゼン（日本語）準備	21	商品紹介プレゼン：テーマ設定・調査
4	3分プレゼン（日本語）発表	22	商品紹介プレゼン（日本語）準備
5	3分プレゼン（日本語）発表	23	商品紹介プレゼン（日本語）発表
6	プレゼンテーションの表現方法・資料作り	24	商品紹介プレゼン（日本語）発表
7	3分プレゼン（日本語）準備	25	商品紹介プレゼン（英語）準備
8	3分プレゼン（日本語）発表	26	商品紹介プレゼン（英語）発表
9	3分プレゼン（日本語）発表	27	商品紹介プレゼン（英語）発表
10	3分プレゼン（英語）準備	28	相手の心をつかむプレゼン
11	3分プレゼン（英語）発表	29	最終プレゼン：テーマ設定・調査
12	3分プレゼン（英語）発表	30	最終プレゼン（日本語）準備
13	プレゼンテーションの話し方のコツ	31	最終プレゼン（日本語）発表
14	5分プレゼン（日本語）準備	32	最終プレゼン（日本語）発表
15	5分プレゼン（日本語）発表	33	最終プレゼン（英語）準備
16	5分プレゼン（日本語）発表	34	最終プレゼン（英語）発表
17	5分プレゼン（日本語）発表	35	最終プレゼン（英語）発表
18	振り返り	36	振り返り

成績評価	出欠、各プレゼンテーションの発表内容
------	--------------------

対面（集合）型
 オンライン
 オンライン（オンデマンド・動画）

学習支援計画書（シラバス）

2022年6月30日

() 年次	<input type="checkbox"/> 一般科目 <input checked="" type="checkbox"/> 専門科目 <input type="checkbox"/> 選択科目
<input type="checkbox"/> ITソリューション <input checked="" type="checkbox"/> グローバル IT ビジネス	授業科目名：簿記基礎 科目番号：SRG17
担当教員名：久保堯之 【実務経験】一般社団法人みなみあそ観光局をはじめ阿蘇地域の観光業に従事して、観光振興・観光地域づくり、観光マーケティング事業を実践しており、その経験を活かす。	

● ねらい、到達目標

ねらい：会社経営や事務系職種で不可欠となる会社の帳簿を付ける技術「簿記」の考え方、作業の仕方を習得すること 到達目標：複式簿記の記帳方法、財務諸表の見方と作成方法などの基礎的な簿記スキルの習得（日商簿記3級レベル）クラウド会計ソフトを使うことで、実際に自分で経理担当者として実務を担えること
--

● 科目概要

1. 会社経営における「簿記」の重要性、経理担当者の業務とは何か、財務三表とは何かを学ぶ 2. 簿記の基礎となる仕分け、帳簿作成、決算処理の一連の流れを学ぶ 3. 簿記の具体的な作業内容について習得度を高めるべく、練習問題およびテストを繰り返し行う
--

● 授業計画

時数	授業内容
1	イントロダクション（簿記の目的、用途、種類）
2	
3	財務三表（損益計算書、貸借対照表、キャッシュフロー計算書）の概要
4	
5	仕分け①（借方と貸方、商品売買、売掛と買掛）
6	
7	仕分け②（手形・有価証券・債権、固定資産と減価償却）
8	
9	中間テスト
10	
11	帳簿作成（試算表、総勘定元帳、現金出納帳、試算表）
12	
13	決算処理①（決算整理と棚卸、月締めと年度締め）
14	
15	決算処理②（財務諸表の作成）
16	
17	期末テスト（日商簿記3級 模擬試験）
18	

成績評価	出席・受講態度：30% 中間テスト：30% 期末テスト：40%
------	---------------------------------

対面（集合）型 オンライン オンライン（オンデマンド・動画）

学習支援計画書（シラバス）

2022年6月30日

() 年次	<input type="checkbox"/> 一般科目 <input checked="" type="checkbox"/> 専門科目 <input type="checkbox"/> 選択科目
<input type="checkbox"/> ITソリューション <input checked="" type="checkbox"/> グローバル IT ビジネス	授業科目名：ローカルビジネス事例研究 科目番号：SRG18
担当教員名：久保堯之 【実務経験】一般社団法人みなみあそ観光局をはじめ阿蘇地域の観光業に従事して、観光振興・観光地域づくり、観光マーケティング事業を実践しており、その経験を活かす。	

● **ねらい、到達目標**

ねらい：地方で生まれる独自性を持ったローカルビジネスの考え方、経営の在り方を知ること
 到達目標：「ローカルビジネス」という、規模は小さくとも尖った価値でグローバルな価値を生み出すビジネスの様式を理解する「ローカルビジネス」の実践者と触れ合うことで、地域を俯瞰してみる力、課題解決力、起業家精神を養う

● **科目概要**

1. 「ローカルビジネス」について、他のビジネスと比較することで、その特徴と必要性を学ぶ
2. 「ローカルビジネス」の実践者である人吉球磨：ひまわり亭の本田節氏、高千穂：高千穂ムラたびの飯千淳志氏の運営する現場を訪問し、また両氏の講話を聴くことで、ローカルビジネスの意義、難しさ、やりがい、やり方について理解を深める

● **授業計画**

時数	授業内容
1	イントロダクション（ローカルビジネスの現状）
2	
3	現地研修① 人吉球磨：ひまわり亭（本田節氏） →振り返り・考察レポートの作成
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	事例研究② 高千穂：高千穂ムラたび（飯千淳志氏） →振り返り・考察レポートの作成
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	

成績評価	出席・受講態度：40% 振り返りレポート：60%
------	-----------------------------

対面（集合）型
 オンライン
 オンライン（オンデマンド・動画）

学習支援計画書（シラバス）

2022年6月30日

(1) 年次	<input type="checkbox"/> 一般科目 <input checked="" type="checkbox"/> 専門科目 <input type="checkbox"/> 選択科目
<input type="checkbox"/> ITソリューション <input checked="" type="checkbox"/> グローバルITビジネス	授業科目名：PR 実践 科目番号：SRG19
担当教員名：久保 堯之 【実務経験】一般社団法人みなみあそ観光局をはじめ阿蘇地域の観光業に従事して、観光振興・観光地域づくり、観光マーケティング事業を实践しており、その経験を活かす。	

● **ねらい、到達目標**

ねらい：企業活動および観光 PR 活動で実際に使われることの多い「PR ブログ記事」「PR 動画」について、一連の流れを実践的に経験することで、全体像を把握し、実践力を身に付けること。

到達目標：取材記事の企画、取材、記事作成、公開までの一連の流れを把握し、Wordpress のブログ更新の作業方法までを習得すること。また、動画制作の企画、撮影、編集、公開までの一連の流れを把握し、簡単な動画編集作業と Youtube への動画アップロードの作業方法を習得すること

● **科目概要**

前半はコンテンツマーケティングの一角として近年注力されているオンライン用のブログ記事作成を行う。グループに分かれて、テーマ設定、取材先の選定、アポ取り、取材、記事ライティング、Wordpress での掲載作業という一連の流れを経験する。後半は、近年需要が高まっている観光 PR 動画を作成する。動画制作はグループに分かれて、各自でテーマ・仕様設定から撮影、編集、公開までの一連の流れを行う。動画内容は、アフターコロナを見据えてインバウンド（海外観光客）において英語を織り交ぜて南阿蘇の観光地をアピールするものとする。

● **授業計画**

時数	授業内容	時数	授業内容
1	イントロダクション（ブログ記事制作）	19	イントロダクション（PR 動画作成）
2	ライティング、写真撮影のポイント	20	動画の利活用シーン、撮影時のポイント
3	グループ・テーマ決め	21	グループ・テーマ決め
4	取材先の選定、アポ取り、ラフ原稿の作成	22	撮影内容の選定、絵コンテの作成
5	取材（写真撮影、インタビュー）の実施	23	動画撮影の実施
6	取材（写真撮影、インタビュー）の実施	24	動画撮影の実施
7	取材（写真撮影、インタビュー）の実施	25	動画撮影の実施
8	取材（写真撮影、インタビュー）の実施	26	動画撮影の実施
9	取材（写真撮影、インタビュー）の実施	27	動画撮影の実施
10	取材（写真撮影、インタビュー）の実施	28	動画撮影の実施
11	取材（写真撮影、インタビュー）の実施	29	動画撮影の実施
12	取材（写真撮影、インタビュー）の実施	30	動画撮影の実施
13	取材成果の整理	31	撮影結果の整理
14	ブログ原稿の作成	32	動画編集
15	ブログ原稿の仕上げ	33	動画編集
16	Wordpress の入力方法	34	レビュー、仕上げ
17	ブログ記事の公開	35	Youtube へのアップロード、公開
18	振り返り	36	振り返り

成績評価	出欠 40%、成果物 40%、振り返りレポート 20%、
------	------------------------------

対面（集合）型
 オンライン
 オンライン（オンデマンド・動画）